



# 地域と共に

2019年1月号 (新年号)

Vol.77



- 院長 新年のご挨拶
- 診療科紹介 第5回 整形外科
- 第4回 JCHO 地域医療総合医学会 報告
- 第23回 地域連携セミナー
- 市民公開講座
- 多職種合同研修を行いました
- 接遇研修を行いました

## 基本方針

1. **患者第一主義** 常に診療を受ける皆様の立場で考え誠実に行動します。
2. **安全確保** すべての診療現場で患者の皆様が安心できる環境を作り、安全で質の高い医療を提供します。
3. **社会貢献** 良質な医療提供を基本として積極的に社会に貢献をします。
4. **公正で透明性のある病院** 高い倫理観に基づき様々な情報を開示します。
5. **働きがいのある職場作り** 創造性、主体性を尊重しあい自由で働きやすい職場を実現します。



<http://www.sagaminojcho.go.jp>






FS522898    ISO9001:2015    人間ドック・健診施設機能評価認定施設



**Security**  
優れた安全対策で皆様を守ります。

**Service**  
先進の医療を快適に提供します。

**Speed**  
すべてに迅速な対応を心がけます。

**Sympathy**  
患者の皆様と想いを共有します。



病院長  
野田吉和



# 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。今年が皆様にとってより良き一年になりますよう祈念いたします。

医療を取りまく環境は依然として厳しい状態が続いています。しかしながらJCHO相模野病院は病院職員の医療人としての努力と研鑽により、また地域の皆様の信頼と地元医師会、病院協会、並びに行政のお力添えにより安定した医療を提供できています。

厚生労働省の政策では地域の病床数や診療機能の見直しが進んでいますが、JCHO相模野病院は今後も急性期機能を維持してまいります。その為には近隣住民皆様のご理解の上、かかりつけ医からの紹介状をお持ちになり受診をお願いいたします。また当院受診後に症状が安定した場合はかかりつけ医のもとで治療を継続していただくよう重ねてお願いいたします。

さて、今年が平成最後の年となりました。平成の30年間は記憶に残る天変地異が多く起きましたが、当院にとりましては変革の時代でもありました。平成前半期は慢性赤字の病院で医師数も増減が激しかったようです。しかし、平成16年からは新病院長が医師を確保し診療科を充実させ、職員は一丸となり業務改善に力を注ぎ経営を立て直しました。その時代から病院の方針を「地域と共に」とし、地域に必要な医療は何かを考え提供してまいりました。また医療安全では「真実を話す、隠さない医療」を実践し、患者さんから信頼される病院になったと自負しています。病院経営の改善により、念願であった耐震基準を満たしていない旧病院建物の新築が認可され、平成23年に新病院竣工となりました。同時に病床を212床に増床し、診療科は特に内科系と母子医療を充実させました。平成26年に経営母体は3病院団体（社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院）が合併し独立行政法人へ改組されました。これにより病院名を地域医療機能推進機構（JCHO）相模野病院と改名し、公的病院として職員一同気持ちを新たに業務に邁進しています。

昨年4月には電子カルテの更新を行いました。新システムの使用開始時は操作に不慣れなため、患者さんには待ち時間等ご迷惑をおかけしましたこと、大変申し訳ございませんでした。おかげさまで、現在まで大きなトラブルもなく電子カルテシステムは順調に稼働しております。

今後もJCHO相模野病院は地域医療に貢献するための努力を惜しみません。何卒よろしくお願い申し上げます。



# 整形外科

主任部長 松久 孝行

## 診療科紹介

第5回



平素より多くの患者様のご紹介をいただきありがとうございます。

整形外科では常勤医3名、非常勤医7名の体制で診療を行っています。

手術症例は四肢外傷が中心ですが、変形性関節症や腰部脊柱管狭窄症などの変性疾患の手術も行っています。特に腱板断裂や反復性肩関節脱臼に対する関節鏡視下手術や、変形性肩関節症などに対するリバーズ型人工肩関節置換術といった、肩関節疾患の治療に力を入れているのが特徴です。更に脊椎診

(月1回)、股関節診(2か月に1回)などの専門診を設置し、脊椎手術や人工股関節置換術も積極的に行っています。

また整形外科疾患においては、術後のリハビリテーションが手術の成績を左右する非常に重要な因子です。当院には理学療法士7名、作業療法士1名が在籍し、術後より質の高い訓練を行っています。リハビリテーション室、医療福祉相談室、看護師などのコメディカルとの連携をとりながら、退院支援にも協力ができるように体制を整えています。

今後も関節疾患や脊椎疾患など、保存的加療に難渋しそうな患者様がいらっしゃいましたら、ぜひ紹介していただければと思います。

## 第4回JCHO地域医療総合医学会 報告



看護部 宮澤 恵美子

11月16日(金)17日(土)第4回JCHO地域医療総合医学会が開催され、当院看護部からは6名が研究の成果を発表いたしました。

シンポジウムでは、地域包括ケアにおける認知症への取り組みのセッションで小木曾師長がシンポジストとして参加し、「認知症

患者の集団ケアの有用性、集団ケアを行った看護師の語りから明らかになったこと」について発表するとともに、他のシンポジストと活発な意見交換が行われました。地域包括ケア病棟をはじめ、当院の看護においても「認知症ケア」は重要課題であり、チーム医療のあり方について大きな学びを得ることができました。



## 第23回 地域連携セミナー

10月24日開催

心疾患を合併した  
糖尿病患者の治療を考える

東京女子医科大学循環器内科特任教授 山口 淳一 先生



糖尿病を合併した動脈硬化疾患における  
重症なケースの治療経験

当院循環器内科 山内 貴雄 主任部長



ご参加いただいた先生方、ありがとうございました。

## 市民公開講座を開催

平成30年11月30日秋の市民公開講座を開催いたしました。「知っておこう! 転倒リスクとその対策」と題して松波優一理学療法士長が、寝たきりの原因ともなる、転倒による骨折を防ぐための対策について講演しました。今回もたくさんの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。



## 多職種合同研修を行いました



11月3日に株式会社ハートセラピーの柳原里枝子様を講師にお招きして、「ポジティブな課題解決のスキルを学ぶ」と題して、「コミュニケーション手法として主流となっている、ソリューションフォーカストアプローチについて学びました。本研修の目的における「当院のチーム医療を活性化」がより進むことで、患者さんのお役に立つことが出来れば良いと思います。

## 接遇研修を行いました

10月と11月に、全職員に対して接遇研修を行いました。「医療従事者に求められるコミュニケーション能力を高める」というテーマで、聴く力・共感する力について学びました。

職員全員、笑顔で温かい接遇を心がけます。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

相模野病院

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-2-30  
TEL:042-752-2025(代) FAX:042-754-9543(代)